

薬物治療学 I

Pharmacotherapy I

薬：E3-04312MY

医療科目 3年／前期 1.5単位 必修科目

科目責任者 榊山 暁史(薬物治療学研究室)

■教育目的

神経・精神・腎・血液・内分泌疾患の領域について、主な疾患の病態生理の概略と、種々の診療ガイドラインなどを通じた標準的な診療内容について理解し、薬物の薬理作用・動態・副作用などの情報に基づいて、どのように個人に即した治療が選択されるかを理解し、薬物治療を評価するための能力を養う。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-③】

■学習到達目標

1. 神経・精神・腎・血液・内分泌疾患の病態と重症度が評価できる(検査法を含む)(知識、技能)。
 2. 神経・精神・腎・血液・内分泌疾患の薬物療法を説明できる(知識、技能、態度)。
 3. 症例に基づいた薬物治療の選択ができる(薬物相互作用を含む)(技能、態度)。
- 薬物治療学総論の内容は、薬物治療学 I～VI に共通して必要となる。また臨床薬学基礎実習の際にも必要な理解となる。

■準備学習（予習・復習）

予習：シラバスに示された領域の病態生理学・薬理学の復習(30分)

復習：当該日の講義内容の確認と補足調査、課題(30分)

■授業形態

課題解決型学習、講義

■授業内容

No.	項目	授業内容	学修／SBOコード
1	薬物治療学総論・神経疾患-1	病態・薬物治療学の理解に必要な検査 不眠症の病態と薬物治療	
2	神経疾患-2	パーキンソン病と末梢神経・筋疾患の病態と薬物治療	
3	神経疾患-3	てんかんと片頭痛の病態と薬物治療	
4	神経疾患-4	統合失調症の病態と薬物治療	
5	神経疾患-5	うつ病・双極性障害の病態と薬物治療	
6	神経疾患-6	不安・神経症の病態と薬物治療	
7	神経疾患-7	アルツハイマー病と脱髄疾患の病態と薬物治療	
8	腎疾患-1	AKI、ネフローゼ症候群の病態と薬物治療	
9	腎疾患-2	CKD、透析、泌尿器疾患の病態と薬物治療	
10	腎疾患-3	酸塩基・水電解質異常の病態と薬物治療	
11	内分泌疾患-1	甲状腺～副腎疾患の病態と薬物治療	
12	内分泌疾患-2	下垂体～生殖器疾患の病態と薬物治療	
13	血液疾患-1	貧血～凝固異常の病態と薬物治療	
14	代謝疾患-1	骨代謝疾患の病態と薬物治療	
15	代謝疾患-2	痛風・プリン代謝疾患の病態と薬物治療	

■授業分担者

A・B組共通／榊山 暁史(No.1,11～15), 鈴木 立紀(No.2,3,7), 蒲生 修治(No.4～6), 鈴木 陽介(No.8～10)、講義の順番は変更することがあり、MY-CAST に掲示する。

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

質問は個別に受け付け、解説・説明をする。必要に応じ MY-CAST に課題が提示される。
期末試験の成績(100%)で評価する。

■教科書

薬学生のための臨床病態学 南江堂 ISBN：978-4-524-40432-2

このほか教員ごとに教科書・参考書・資料を指定することがある。